

# 読売新聞

発行所 読売新聞大阪本社 〒530-8551 大阪市北区野崎町5-9 電話(06)6361-1111(代) www.yomiuri.co.jp

太陽光・水素で未来を先取り!

## 長州産業

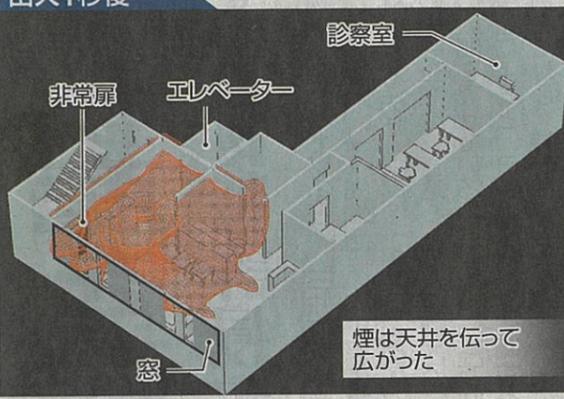
### CIC



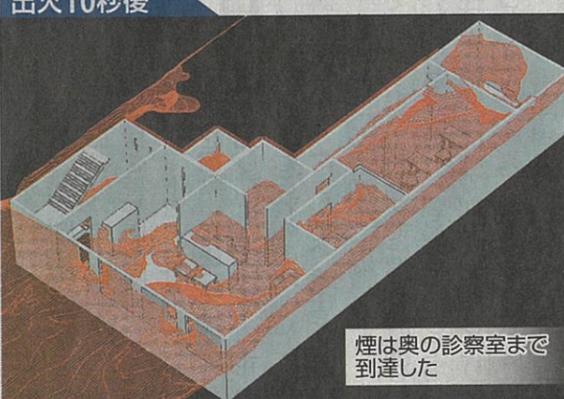
山口県山陽小野田市 石川佳純

■日鉄、三井物産を提訴	2	政治	4	国際経済	6
■石油代 紅茶で支払い	8	解説小説	7	国際	8 9
■がん10年生存率60.2%	29	経済	10 11	気流	12
■「復帰50年」迎える沖縄	31	スポーツ			15 17
◀全日本選手権 坂本SP首位	17	碁・将棋	15	家庭	21
		商況	22 23	科学・医療	27

### 高濃度の二酸化炭素の拡散を調べた想定実験



出火1秒後  
煙は天井を伝って広がった



出火10秒後  
煙は奥の診察室まで到達した

## 北新地放火 CO2 20秒で充満

### 想定実験 数分で意識障害か

大阪市北区曾根崎新地のクリニックで起きた放火殺人事件の状況について、解析会社による想定実験の結果、二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)の濃度が高い煙が、出火から約20秒で室内に充満したことがわかった。この数分後には、現場にいた被害者26人全員が意識障害に陥っていた可能性がある。

読売新聞が、気体の広がりなどを3DCG(3次元コンピュータグラフィックス)で解析する「環境シミュレーション」(東京)に依頼して実施した。

火災は17日午前10時15分頃、雑居ビル4階の「西梅田」からだのクリニックで発生。実験は大阪府警への取材や、通行人らが撮影した現場の動画などから室内の状況を再現し、CO<sub>2</sub>濃度が5000ppm(1ppm=0.0001%)を超えると、煙の広がり具合を調べた。この濃度の煙を吸うと1〜2分で意識障害が起ると推測する。

府警によると、谷本盛雄容疑者(61)は患者ら26人を奥の診察室方向に追い込み、通路のドアを閉めて閉じ込めたとみられる。26人は間もなく意識を失って倒れた可能性が高い。亡くなった25人の死因は24人がCO中毒で、残りの1人はCO中毒に伴う蘇生後脳症だった。(関連記事27、31面)

## 市中感染 京都も確認

京都、大阪両府で23日に確認されたオミクロン株の「市中感染」の感染者は計2人だった。京都府で市中感染が明らかになるのは初めて。2人は軽症で、現在は入院している。

京都府の感染者は、同府京田辺市の20歳代女性。19日に発熱などの症状が出て20日に入院し、ゲノム解析でオミクロン株の感染が確認された。渡航歴はなく、感染経路は不明。ワクチンは2回接種済みだった。

濃厚接触者は7人。新型コロナウイルスの感染の有無を検査中で、念のため7人全員、府が確保したオミクロン株専用の宿泊療養施設に入所してもらう。府は23日から来年1月15日まで、府内の飲食店では「卓4人以内」で2時間までの利用制限を要請する。

大阪府で感染が判明したのは、府内在住で10歳未満の小学生男児。17日に発熱などがあり、同日に新型コロナウイルスの感染が確認された。濃厚接触者は家族5人。男児が通う小学校は24日から休校とし、児童と教職員全員を対象に検査を実施している。

府では22日、国内初の市中感染となる親子3人のオミクロン株感染が確認された。男児と親子3人との接点はないという。

府によると、男児や親の小学生男児。17日に発熱などがあり、同日に新型コロナウイルスの感染が確認された。

## 大阪きょうから100か所で

首相は講演で「封じ込め対策が必要な地域で、不安のある全ての方を対象に無料検査を実施する」と語った。大阪、京都両府では感染経路が不明なオミクロン株の「市中感染」が確認され、沖縄県では米軍基地で多数の感染者が出ている。

大阪府は24日から、府内100か所に無料検査場を設ける方針だ。内閣官房によると、沖縄県も準備が整い次第、開始する予定。京都府は調整中だという。

今後、オミクロン株の市中感染が確認された都道府県では、知事の判断で、PCR検査や抗原検査を無料で実施できるようにする。都道府県に登録した薬局や

政府は2021年度補正予算で、健康上の理由でワクチンを接種できない人や12歳未満の子どものための検査無料化のため、3200億円を計上。今回の対象拡大もまず、この枠内で対応する。

オミクロン株は、デルタ株に比べて感染力が格段に強く、ワクチンが効きにくいとされる。政府の新型コロナウイルス感染症対策分科会の尾身会長は23日の記者会見で「市中感染が始まると急速に拡大するのは、ほぼ明らかだ」と警鐘を鳴らした。

# 無症状でも無料検査

## オミクロン警戒 大阪・京都・沖縄

希望者全員に

## 三菱電機 歴代 計12人 不正検

三菱電機は23日、鉄道車両向け製品の不正検査など一連の問題を起した経営責任があるとして、過去の経営幹部を含む役員12人に対する処分を発表した。品質点検を実施したが、長年にわたって不正を見抜けなかった歴代の経営責任は重いと判断した。

処分は同日開いた取締役会で決定した。柵山正樹前社長は、15〜30分程度で死亡に至るとされる。

実験の結果、エレベーター付近から出火した直後、煙がクリニックの天井伝いに拡散し、約10秒で奥の診察室まで到達。下方向に広がりが、約20秒後に全体を覆っていた。当時、非常扉や換気窓が開いていたが、排出効果は限定的だった。

短時間で充満した理由について東京理科大学の松山賢教授(火災安全工学)は、ほぼ密閉された狭い空間では酸素が少なく、そこでガソリンの不完全燃焼が起り、COが大量発生したのだらう」と推測する。

府警によると、谷本盛雄容疑者(61)は患者ら26人を奥の診察室方向に追い込み、通路のドアを閉めて閉じ込めたとみられる。26人は間もなく意識を失って倒れた可能性が高い。亡くなった25人の死因は24人がCO中毒で、残りの1人はCO中毒に伴う蘇生後脳症だった。(関連記事27、31面)

## 米、コロナ飲み薬

### ファイザーとメル

【ワシントン＝船越翔】FDAは23日、米食品医薬品局(FDA)は23日、米製薬大手メルクが開発した新型コロナウイルス感染症の経口薬(飲み薬)「モルヌピラビル」に緊急使用許可を出した。22日には米ファイザー製の飲み薬「パクスロビド」の緊急使用も認められた。米政府は服用が容易な飲み薬の実用化で重症患者の増加を防ぎたいと考えた。

FDAは23日「入院や死亡の患者にとつて療の選択肢となした。モルヌピラは軽度〜中程度うち、重症化す高い18歳以上が処方に基づき5日以内に服用は臨床試験で確化リスクが約ことを確かめた

## 三菱電機 歴代 計12人 不正検

三菱電機は23日、鉄道車両向け製品の不正検査など一連の問題を起した経営責任があるとして、過去の経営幹部を含む役員12人に対する処分を発表した。品質点検を実施したが、長年にわたって不正を見抜けなかった歴代の経営責任は重いと判断した。

処分は同日開いた取締役会で決定した。柵山正樹前社長は、15〜30分程度で死亡に至るとされる。

実験の結果、エレベーター付近から出火した直後、煙がクリニックの天井伝いに拡散し、約10秒で奥の診察室まで到達。下方向に広がりが、約20秒後に全体を覆っていた。当時、非常扉や換気窓が開いていたが、排出効果は限定的だった。

短時間で充満した理由について東京理科大学の松山賢教授(火災安全工学)は、ほぼ密閉された狭い空間では酸素が少なく、そこでガソリンの不完全燃焼が起り、COが大量発生したのだらう」と推測する。

府警によると、谷本盛雄容疑者(61)は患者ら26人を奥の診察室方向に追い込み、通路のドアを閉めて閉じ込めたとみられる。26人は間もなく意識を失って倒れた可能性が高い。亡くなった25人の死因は24人がCO中毒で、残りの1人はCO中毒に伴う蘇生後脳症だった。(関連記事27、31面)

## 三菱電機 歴代 計12人 不正検

三菱電機は23日、鉄道車両向け製品の不正検査など一連の問題を起した経営責任があるとして、過去の経営幹部を含む役員12人に対する処分を発表した。品質点検を実施したが、長年にわたって不正を見抜けなかった歴代の経営責任は重いと判断した。

処分は同日開いた取締役会で決定した。柵山正樹前社長は、15〜30分程度で死亡に至るとされる。

実験の結果、エレベーター付近から出火した直後、煙がクリニックの天井伝いに拡散し、約10秒で奥の診察室まで到達。下方向に広がりが、約20秒後に全体を覆っていた。当時、非常扉や換気窓が開いていたが、排出効果は限定的だった。

短時間で充満した理由について東京理科大学の松山賢教授(火災安全工学)は、ほぼ密閉された狭い空間では酸素が少なく、そこでガソリンの不完全燃焼が起り、COが大量発生したのだらう」と推測する。

府警によると、谷本盛雄容疑者(61)は患者ら26人を奥の診察室方向に追い込み、通路のドアを閉めて閉じ込めたとみられる。26人は間もなく意識を失って倒れた可能性が高い。亡くなった25人の死因は24人がCO中毒で、残りの1人はCO中毒に伴う蘇生後脳症だった。(関連記事27、31面)

## 三菱電機 歴代 計12人 不正検

三菱電機は23日、鉄道車両向け製品の不正検査など一連の問題を起した経営責任があるとして、過去の経営幹部を含む役員12人に対する処分を発表した。品質点検を実施したが、長年にわたって不正を見抜けなかった歴代の経営責任は重いと判断した。

処分は同日開いた取締役会で決定した。柵山正樹前社長は、15〜30分程度で死亡に至るとされる。

実験の結果、エレベーター付近から出火した直後、煙がクリニックの天井伝いに拡散し、約10秒で奥の診察室まで到達。下方向に広がりが、約20秒後に全体を覆っていた。当時、非常扉や換気窓が開いていたが、排出効果は限定的だった。

短時間で充満した理由について東京理科大学の松山賢教授(火災安全工学)は、ほぼ密閉された狭い空間では酸素が少なく、そこでガソリンの不完全燃焼が起り、COが大量発生したのだらう」と推測する。

府警によると、谷本盛雄容疑者(61)は患者ら26人を奥の診察室方向に追い込み、通路のドアを閉めて閉じ込めたとみられる。26人は間もなく意識を失って倒れた可能性が高い。亡くなった25人の死因は24人がCO中毒で、残りの1人はCO中毒に伴う蘇生後脳症だった。(関連記事27、31面)

読売新聞 オンライン

ご登録は ▶  
お問い合わせ  
0570-043435  
(9時〜18時)